

えんばーくで寄せ植え

花育て
オーナー

を楽しみながらオリジ
ナルの鉢を完成させ
た。

H I Y O K O (ひよ
N P O 法人グルー
プ

理をしていく。

28 朝 日 報

15

開

タ

民

塩

房

か

幅

社

都市大塩尻 連字路に化

生徒ら ペチュニアなど

塩尻市の市民交流セ
ンター・えんばーくで
このほど、施設周辺に
飾る花の寄せ植え作業

れている市道の植樹帯を活

用し、ペチュニアとマリー

ゴールド約180株を植え
た。植樹前には草取りも行
い、一帯をきれいにした。

水やりなど花の管理は生徒
会役員や環境衛生委員会の
委員らが中心になって取り

組んでいく。大島桃子生徒
会長(17)は「活動を通し、ごみを捨てない
意識や地域へ感謝する気持ち
が広がっていけばいい」と願つていた。

活動には地元の大門7区
の役員も参加し「身近に花
があると気持ちも明るくなる」と生徒らの活動に感謝
していた。地域住民と市が連携して美化に努める「ク
リーン塩尻パートナー制度」の一環として市も活動
費を補助している。

が熱心に作業した。
生徒会役員ら
が植えら
ス

(莊 隆子)



多田さん(左)の助言を受けながら作業
する参加者

が行われた。個人や団
体で登録する「花育て
オーナー」ら15人が参
加し、花の組み合わせ

ソウといった夏から秋
にかけて見頃となる花
と、アイビー、パセリ
などの葉物が用意され
た。ガーデンデザイナ

1・多田紳也さん

(47)=松本市西島
が助言し、参加者は根
を張りやすくするために
土を固めないよう注意
しながら植え込んでい

つた。9月末までそれ

ぞれが水やりなどの管
理をしていく。

えんばーくの市民支

援組織・えんばーくら
ぶの事業の一環で、一
昨年からオーナー制度
を取り入れている。今

年は14の団体・個人が

19鉢を管理していく。

(鎌倉 希)

こ)の浜崎和子さん
(69)は「成長すると
花が増えていくので、
えんばーくへ来るのが
楽しみ」と話してい
た。

えんばーくの市民支

援組織・えんばーくら
ぶの事業の一環で、一
昨年からオーナー制度
を取り入れている。今

年は14の団体・個人が

19鉢を管理していく。

(鎌倉 希)